

こころで聴く図書館

うしな まほうしょ さが
失われた魔法書を探せ!



**SLOW
COMMUNICATION
PROJECT**

ぼうけんのきろく

2022.9.23

ぼうけん者のみんな、
集まってくれてありがとう！
君たちのおかげで茅ヶ崎市立図書館に広がっていた
「カゲ」は払われた。

だけど、これからも油断は禁物。
こうしている間にも、どこかで新しい「カゲ」が
生まれているかもしれない…

どうかこのぼうけんで知った「闇の魔王」の正体に、
君たちはのまれないでほしい。
いつかまた、会える日まで。

ぼうけんをふりかえろう！

ぼうけんの地：茅ヶ崎市立図書館

ぼうけんの日：2022年9月23日



仲間を知ろう

たくさんのぼうけん者が集まってくれているね！
今日は三人一組のパーティで挑戦するよ。
どんな人とチームかな？

きずなを深めよう

ぼうけんに大切なのはチームワーク！
新聞のボールをチームで投げて回そう！
声は出さず、アイコンタクトがポイント。
しっかり目を見て…「ほら、いくよ！」
ボールが二つに増えてもうまくなってきたかな？



ぼうけんの始まり ～まほうしゅ探し＆けんづくり～

さがす『魔法書』は、3冊。
まずはヒント集めから！
三つのヒントを、
三組の協力者からもらっていくよ！



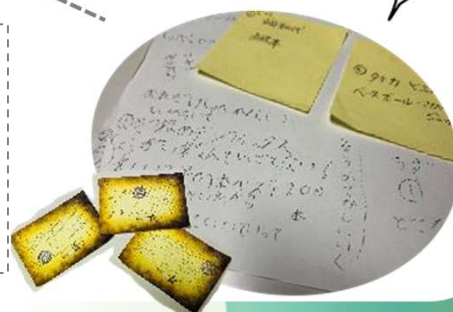
ヒント集めも
むずかしい

いざ、ぼうけんへ！

ヒント：
タイトル
著者
たねの位置

ぼうけんのルール

1. 見えない人は、本に触れる
2. 聴こえない人は、人に触れる
3. 話せない人は、筆記具に触れる



冒険のおきて：だれひとり取り残さないこと

聴こえない・話せない・見えない。
3つを経験したね！　どんなことを感じたかな？

きこえない

もやっと 

- ×こわかった
- ×声が大きくなった
- ×相手を怒らせてしまいそうだった
- ×紙に書いてもらわないとわからなかった
- ×周りの人が何を言っているのか、わからなくて、気になった
- ×情報がないから話についていけない

たすかった！

- 声が大きかったことを教えてくれた
- 文字で必死に伝えてくれた
- 身振り手振りや筆談をしてもらって、よくわかった
- 言おうとしたことを「こういうこと？」と確認してくれた
- アイコンタクトが伝わった！



はなせない

もやっと 

- ×がまんするのがつらかった
- ×紙に書くのが大変だった。疲れた
- ×文字で伝えるむずかしさがあった
- ×言いたいことが伝わらなくて困った
- ×聞き間違いをして、本を見つけられなかった

たすかった！

- 説明がうまくいなくても、がんばって聞いて、伝えてくれた

「図書館利用者に怖がられた…
障害者もそんな気持ちなのかな？」
体験してこそ、わかることもある！



見えない

もやっと 

- ×とにかくこわい
- ×どこにいるのかもわからず、どうしていいのかもわからなかった
- ×真っ暗で大変。何度も棚にぶつかった
- ×取り残された気分だった
- ×取り残されていることに気付かなかった
- ×チームの人の声か、周りの人の子か、わからなかった
- ×なにを聞いても返事がないと、きもち悪かった
- ×「今、〇〇にいるよ」と言ってほしかった
- ×耳からの情報をもっとほしかった

たすかった！

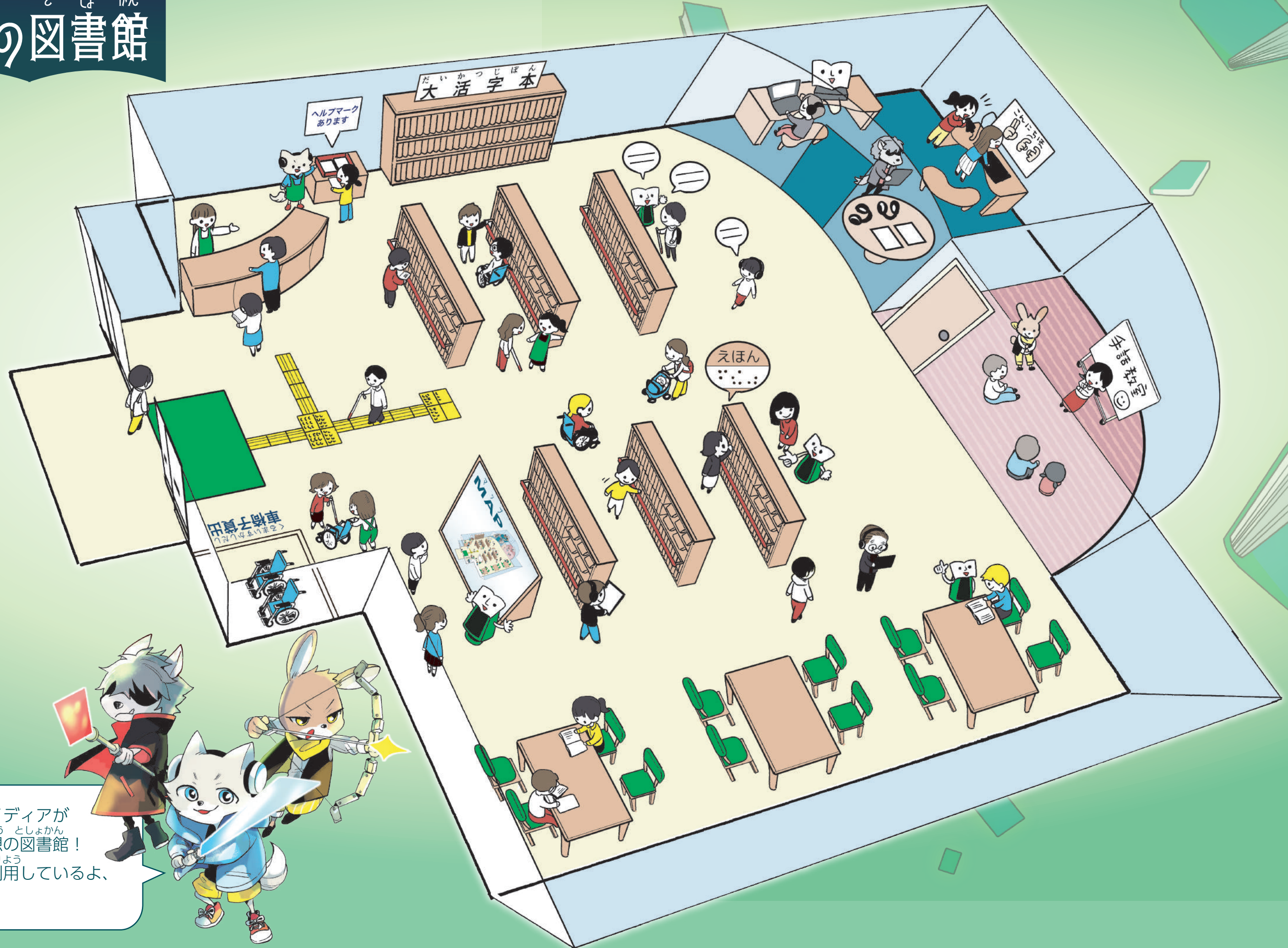
- ひとりだとぶつかったりするけれど、手をつないで、引っ張ってくれて安心したし、うれしかった
- 「こっちだよ」と声をかけてくれると助かった
- まちがっていることを教えてくれた
- 音がよく聞こえた
- 点字ブロックが歩きやすかった

「みんなで協力してできた剣が
一番輝いて見えた！」
チームで作る達成感って最高だよな



みんなで考えた「理想の図書館」を見に行こう！

理想の図書館



みんなのアイデアが
つまった理想の図書館！
ぼくたちも利用しているよ、
さが探してね！

みんなのアイデア

- 1 目が見えない場合、ヘッドホンなどから本や場所の情報が音声で流れるといいと思いました
- 2 見えないと状況が全くわからないから状況を沢山話をしてあげる
- 3 図書館の人に言ったら、最優先で見たい本があるところへ誘導してくれる
- 4 人が人をわかり合えば良い。見えない、きこえない、はなせない人を見かけたらすぐに駆け寄る
- 5 見えない人には声で案内する機械があったらいいと思う
- 6 メモパットみたいな物をいつでも持ってて、手話が出来なくても話せるようにする
- 7 コンピュータが本の場所に案内すると良い
- 8 見えない人にとっては図書館全体に点字ブロックがあった方が歩きやすくなると思う
- 9 月に1回手話教室を図書館で開く
- 10 入口に車椅子を貸し出せる場所があったら、見えない人も転ばないでいできる
- 11 使いやすくするには日本語の案内の下に点字をつける
- 12 本棚にそって手すりをつける
- 13 きこえない人の為に音声を文字にしてくれる機械をおいておく
- 14 機械で検索した結果が、文字で見えたり音で聞けたりすると良い
- 15 パソコンとか、伝えられる物があるといい
- 16 きこえない人の為の手話の映像の機械があったらいいと思う
- 17 車椅子やベビーカーの為に通路が広いといい。道を広くすると障がいの人が歩きやすくなる
- 18 看板やポスターなどで図書館はいろんな人が使えるということをみんなに知らせる
- 19 大活字本がどこにあるのか表示をわかりやすくする
- 20 「助けて欲しいです」のカードみたいなのがあれば使いやすいかも





ぼうけんの終わりに

「カゲ」を生み出す、「闇の魔王」の正体。それは…

見えない・聴こえない・話せない。

それぞれの立場になってみて、なにを思ったかな？

「**どうしてわかってくれないんだろう**」

「**手を貸してほしいけど、めいわく？**」

こんなふうに、モヤモヤした人もいたんじゃないかな。

そう、それぞれが「闇の魔王」の正体。

わからないものごとや人に出会ったとき、

「**きっとうにちがいない**」って決めつける

〈思い込み〉＝「闇の魔王」なんだ。

じゃあどうしたらいいかって？

みんなもう、わかったよね？

「**もしかしたら、〇〇なのかも**」

って、立ち止まって想像しよう。

わからないことは聞いてみよう！

そして、「**なにができるかな？**」って

一緒に考えてみよう！

そうすればきっと「カゲ」はなくなっていく。

ひとりひとりの中にいる「闇の魔王」をたおしていこう。

君たちのぼうけんはまだ続く。

ぼくたちはずっと、見守っているよ！



to be continued...